

守山まるごと活性化 議事要旨

作成日: 2018/12/12

作成者: 山本

会議名: 第5回ふるさとづくり委員会グループリーダー会議

日時: 平成30年12月4日(火)

場所: 速野会館小会議室

出席者: 山本光男、岡本善広、馬場敏明、大井豊、伊藤潔、西村寛、奥村正綱、宮川美紀子

出席者(行政): 速野会館 赤井館長、山本

使用資料:

議題	各プロジェクトの進捗状況および検討について、今後の速野まるごと活性化事業の取組みについて
会議要旨	
内容	
1 各プロジェクトの進捗状況および検討について A: 12/8(土)学区鮎寿司試食会を実施する。男女チームに分かれて漬込んでおり、試食を行い、好評なチームの鮎寿司を、守山鮎寿司試食会に出品する予定。 守山鮎寿司の会試食会→H31年1月13日(日) B: 今年度の活動については完結。 C: 12月2日(日)おでかけノルディックin万博を実施。参加者24名。無事実施。 12月8日(土)四季桜のつどい開催予定。 D: 12月26日(水)冬休み大川自由研究室を開催。夕方からプラネタリウムを観察。 星空観察会については、夜遅くなるため、今年は開催なし。 H31年の3月に新川河畔林を活用して、植樹のつどいを開催を計画している。 E: これからの速野ナレーション付けに取り組んでいる。現在、編集および音声吹き込みに取り組んでいる状況。 F: H31年3月に広報誌の発行を予定。	
2 今後の速野まるごと活性化事業の取組みについて ・体制が自治会長会の影響を受ける仕組みになり過ぎている。自治会長会からはもっと切り離すべき。 ・Fプロジェクトは自治会長11名で構成では、自治会長会でいいのでは？わざわざいらない。 ・Fプロジェクトは今後、市からの援助がなくなっても活動を続けていけるように検討すべきプロジェクトであるべき。自治会長のみで構成だと趣旨が違ってくる。 ・自治会長はオブザーバーではなく、各プロジェクトには関わってもらうべき。 ・委員長も副学区長を充てるでは、結局は自治会長会の延長上での思考が強くなる。避けるべき。 ⇒ビジョン研究チームにて「ふるさとづくり委員会組織運営(案)」の見直しを実施する。	
3 今後の予定 まちづくり協議会各部会合同会議 1月16日(水) まちづくりビジョン研究チーム会議 1月29日(火) グループリーダー会議 2月5日(火) ふるさとづくり委員会 2月26日(火)	
決定事項	各プロジェクトの進捗状況および検討について、今後の速野まるごと活性化事業の取組みについて
次回以降について	今後の速野まるごと活性化事業の取組みについて